

論文要旨

氏名	有永 靖
タイトル	透析患者における唾液分泌量低下と健康関連 Quality Of Life の関連
<p>論文の要旨</p> <p>透析患者では唾液分泌低下が高頻度で認められる。本横断研究では透析患者における唾液分泌低下と健康関連 quality of life (HRQOL) の関連を包括的 HRQOL 尺度 MOS Short-Form 36-Item Health Survey (SF-36) を用いて検討した。2008年5月から7月に透析専門病院にて血液透析治療を受けた患者 347 名中、本研究への同意が得られ、データの揃った 212 名を対象とした。安静時唾液分泌量が 0.1 ml/min 以下かつ刺激唾液分泌量が 1.0 ml/min 以下の者を唾液分泌低下と定義した。唾液分泌低下が SF-36 のサマリースコア、および下位尺度偏差得点に与える影響について一般線形モデルを用いて評価した。年齢、性別、透析原疾患、透析期間、現病歴、既往歴、body mass index、喫煙状況、飲酒状況を共変量として用いた。唾液分泌低下と定義された者は 103 名、全体の 48.6%であった。唾液分泌低下と SF-36 の下位尺度偏差得点である身体機能、身体的日常役割機能、全体的健康感、社会生活機能、および身体的側面の QOL サマリースコアとの間に負の関連を認めた ($P<0.05$)。透析患者において唾液分泌低下は HRQOL と関連することが示された。</p>	